

2020. 7. 23

畑 啓之

兵庫県加古川市の片田舎にも GoTo トラベル？がやってきたが・・・

加古川の歴史ある宿泊施設は GoTo トラベルの初日にほぼ満室であった要である。

しかしながら、記事にはこの施設が GoTo トラベルの宿泊先として認可されているか、不安であると記されている。旅行会社を介しての予約であれば間違いなく GoTo トラベルで会計処理されることになるだろうが、個人が直接に予約した分については現場で混乱が起きているようである。

誰かが思いついて、それを短時間で形にしたイベントであることは否めないようである。



新 戸 業 所 片 田 舎  
2020年(令和2年)7月23日 木曜日

観光支援事業「GoTo」で東播

老舗の温泉宿として知られる加古川温泉  
みどころ荘(加古川市上荘町井ノ口)

「提示されている条件曖昧で不安」

政府の観光支援事業「GoTo」が22日始まり、東播地域の観光宿泊施設はその効果に期待を寄せる一方、不安も抱える。新型コロナウイルス感染者の増加や、政府の対応が「転転準備が整わない状態でのスタートに、宿泊施設の関係者は「情報が流動的で現場は混乱している。今は不安が期待を上回っている」と明かす。

加古川市上荘町井ノ口の旅館「加古川温泉みどころ荘」では、割り引き対象の登録事業者になるための申請をしているが、いまだに正式な決定通知はない。

登録事業者には検温や換気、食事の提供方法などで

4連休初日の23日は宿泊予約でほぼ満室。宿泊予定者から「GoToでお金が返ってくるのか」という問い合わせもある。割り引き対象になると見込んでいたが、現時点では「戻ると思っ」と言える程度で、正確な返答ができない状況という。

みどころ荘ではコロナ禍による約1カ月間の休業から再開した後、少しずつ客足が戻ってきていたが、感染者が再び増えるにつれ、予約のキャンセルも出てきている。篠原さんは「キャンペーンが軌道にのり、客足回復の一助になってほしい」と期待を込めた。

(小尾絵生)